

各業務におけるユーザ操作イメージの整理

2020年12月4日

1. 本資料のスコープ(再掲)

本資料では、以下の項番3の検討結果について記載する。

- 第1回検討会 資料4における未検討項目についての検討(第2回検討会 資料3)
 Oアプレットライフサイクル
 O仮PINを用いたローカルPIN設定
 O2つの鍵・証明書を格納するフロー
- 2. 第1回検討会 資料5における未検討項目についての検討(第2回検討会 資料4) 〇電子証明書に関する業務(再発行、PINの初期化、PINの変更) 〇スマートフォン特有のライフサイクル(故障、紛失、一次紛失、破棄)

3. 第1回検討会 指摘事項についての検討(第2回検討会 資料5) 〇各業務におけるユーザ操作イメージの整理 〇機種変更における交通ICとのUX比較

※参考:第1回検討会資料

- 資料4:電子証明書のスマートフォン搭載に関するシステム構成と初期発行フロー【参考資料2】
- 資料5:スマートフォン特有のライフサイクルへの対応【参考資料3】

【補足】スマホJPKIが利用可能になるまでのフェーズ (資料3より再掲)

・資料3にてアプリ、アプレット、鍵・証明書の有無によってフェーズを分けをした。 ・それぞれのフェーズにおいての画面フローを次頁以降で明示する。



2. (1)各業務におけるユーザ操作イメージの整理(フェーズ1(アプリ準備)フェーズ2(アプレット準備)

・フェーズ1では、一般的なアプリと同様にマーケットプレイスからインストールする。 ・フェーズ2では、アプリ初回起動時にアプレットのインストールを行う。



2. (2)各業務におけるユーザ操作イメージの整理(フェーズ3(初期設定))

・フェーズ3では、マイナンバーカードの署名用電子証明書のパスワード入力及び読取を行い、スマートフォン用の電子証明書にパスワード設定を行う。

・画面遷移に分岐はないため、複雑な操作を行わない。



2. (3)各業務におけるユーザ操作イメージの整理(フェーズ4(サービス利用))

・フェーズ4では、マイナポータルへのログインや、証明書に関する各種手続きを行う。 ・証明書管理メニューの一時保留解除やPIN変更については、スマートフォン用の電子証明書を用いて実施可能。



3. (1) 機種変更における交通ICとのUX比較 (and roidにおける旧端末での手続き)

・交通ICでは、旧端末での機種変更手続きが必須だが、スマホJPKIは、旧端末での操作は不要。



スマホJPKI

機種変更後もスマホJPKIを利用するために、旧端末での操作は不要。 新端末での新規利用手続きにおいて、 旧端末の電子証明書の失効手続もあわせて実施。

※旧端末に残る電子証明書や秘密鍵が悪用されないよう、旧端末での操作により削除できる手段を別に用意

3. (2) 機種変更における交通ICとのUX比較 (and roidにおける新端末での手続き)

・交通ICではメールアドレスとパスワードの入力、スマホJPKIではパスワードの入力とマイナンバーカードの読取が必要。



3. (3)機種変更における交通ICとのUX比較(フェーズ単位での比較)

・交通ICカードスマホアプリとJPKIスマホアプリの機種変更手続きについて、以下の通りまとめた。 ・スマホJPKIの機種変更手続きでは新たな暗証番号設定等の手順があるが、旧端末での処理が必須でない。

項目	旧端末 (利用フェーズ)	新端末 (アプリ・アプレット準備、初期設定フェーズ)	新端末 (利用フェーズ)	評価等
交通IC	 ①旧端末で会員メニュー から機種変更手続きを 実施。 【入力情報】 暗証番号 	②新端末で、会員メニューから 初期設定手続きを実施 【入力情報】 メールアドレス 暗証番号	処理完了後 利用開始	×旧端末で機種変更手続きが必要 ×メールアドレスと暗証番号の入力が 必要
JPKI スマホ アプリ		 ①新端末で、新規利用手続きを実施 旧端末の証明書を失効 【入力情報・作業】 署名用電子証明書暗証番号 マイナンバーカード読取 ②スマホ用JPKIの暗証番号設定 【入力情報】 スマホ用署名用電子証明書暗証番号 スマホ用利用者証明用電子証明書暗証番号 	PIN設定後 利用開始	○新端末での初期設定操作のみ ×マイナンバ−カ−ドの読取が必要 ×スマホ用JPKIの暗証番号設定が必 要

※旧端末での証明書失効手続も可能。 参考資料にフローを示す。



【参考】旧端末に残るJPKI情報(電子証明書や秘密鍵)の削除手続き

 ・新端末での操作により旧端末の電子証明書は失効するが、旧端末に残る電子証明書や秘密鍵が悪用されないよう 削除されることが望ましいことから、旧端末での操作により電子証明書や秘密鍵を削除できる手段を用意(推奨)。
 ①旧端末での操作による失効申請に基づき、旧端末の電子証明書や秘密鍵を削除(=任意の失効申請の扱い)
 ②旧端末の初期化により、旧端末の電子証明書や秘密鍵を削除

